

## 報告事項1：令和7年度事業報告の件

### 令和7年度事業報告 要 旨

#### 事業年度活動テーマ 『輝く未来のために「挑戦者」になろう』

#### ～Let's become challengers for shining future～

急激な少子高齢化により社会保障費が増大し、生命保険に期待される私的保障の役割は大きくなっている。JAIFA会員は、お客さまそれぞれに応じた保障の必要性、意向に沿った提案を行えるよう、現状に満足することなく、新しい自分を形成していけるよう、令和7年度は『輝く未来のために「挑戦者」になろう～Let's become challengers for shining future～』を事業年度活動テーマとして何事にも信念をもってチャレンジしていくことで、輝く未来へ繋がるよう活動をして参りました。

結果、会員数は43,278名超となり、昨年度会員数を3,372名の大幅増員をすることが出来た。

令和7年度の特記する点は下記の通りである。

#### ◆2025年次大会 in さぬき、地方協会セミナー

2025年次大会 in さぬきは令和7年5月30日に盛大に開催することが出来た。また、各地方協会では、セミナーの対面開催と同時にWebを活用してハイブリッド開催とするなど、一般消費者参加の増加を図ることが出来た。

#### ◆ITの活用と促進

ホームページや学習帖のアクセス数のモニタリングを継続しながら、IT公益推進委員会の教育部会・広報部会・IT推進部会の3部会が合同でアクセス数の増加にむけて活動した。更に、JAIFA公式LINEでは広報誌「Present」最新号の発信や各種お知らせ等を発信した。

#### ◆会員増強

令和7年度は、主に住友生命の大幅増員に伴い、令和5年度に達成した会員数4万名に返り咲いた上、さらに会員数を増加させた。

#### ◆愛のドリーム募金

会員1人1日10円を募金し、高齢者福祉施設等に福祉巡回車「愛のドリーム号」を贈呈するなどの活動を行っている愛のドリーム募金は、生命保険の日である1月31日に全国一斉贈呈式を実施する方針の下、全国54地方協会において一斉に挙行了した。

#### ◆ハートフルファンデーション支援

会員の年会費に500円のハートフルファンデーション基金が含まれており、「突発的災害」と「未来ある子どもたち」への2本柱として支援活動を行っている。

「突発的災害」は、被災地のハートフル・コーディネーターや地方協会長との連携により、多発した大雨災害や大規模山林火災など、迅速に被災地が求める物資支援等を行った。ハートフル・コーディネーター研修会を開催し、能登半島の視察も行った。

また、「未来ある子どもたち」への取り組みとしては4団体へ継続した支援を行った。

令和7年度の公益社団法人としての事業詳細については以下のとおり報告する。

#### ■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

## ■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施 (教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次大会は、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るといふ、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している(2025年度開催「2025年次大会 in さぬき」：全体で4,000名参加)。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、参加者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動(リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など)ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

## ■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて (教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

JAIFAは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

JAIFAは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

- ① 公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加
- ② 広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ(ファイナンシャルプラン)」15年継続

## ■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会貢献活動事業は、JAIF Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、JAIF A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、30年間で6億7,929万8,727円、福祉巡回車愛のドリーム号は483台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（1月31日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子どもたちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子どもたちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子どもたちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。「かけがえのない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、タオルの回収について継続的に実施している

### タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用していただき喜ばれている活動である。一般企業から協力もいただいている。

### 絵本の収集

令和7年度からの新しい試みとして、年次大会にて「子ども向け絵本」の収集を行い、大会開催地域の児童養護施設等で活用いただいている。

## ■ハートフルファンデーション支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

### 1. 未来ある子どもたちへの継続支援

平成24年の設立からの5年間「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて継続してきた。令和5年度より下記3団体に新たな支援先として「ジャパンハート」を加え合計700万円の支援をさせていただいた。

### 継続支援実績（平成29年度に継続9年目の支援）

- ① 「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）  
クラウン(道化師)が病院の小児病棟を訪問し、闘病中の子どもたちに笑顔を届ける活動をしている団体である。病院への定期訪問の他、被災地での活動へ支援させていただいた。
- ② 「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）  
病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。
- ③ 「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」（200万円）  
命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。
- ④ 「NPO法人 ジャパンハート」（200万円）  
国内外を問わず医療の届かないところに医療を届けるという理念で、難病を抱える子どもたちの治療を実現している団体である。特に小児がんの子どもたちを対象とした「スマイルスマイルプロジェクト」に支援させていただいた。

年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した募金活動」は、JAIFA年次大会 in さぬきの開催地である香川県と高松市に「未来ある子どもたちへ役立たせるため」の支援として140万4,509円ずつ寄附をした。

## 2. 突発的災害への支援

全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

### ◆令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害への支援

8月6日からの大雨により、九州北部地方では9日から11日にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、被害がもたらされた。熊本県協会は八代市、上天草市、天草市の各災害ボランティアセンターと連携し、防塵マスク、手袋軍手、パンチクール、新品タオル、土のう袋を各ボランティアセンターへ支援させていただいた。

### ◆令和7年8月20日からの大雨にかかる災害への支援

低気圧と前線の影響で東北日本海側の大気が非常に不安定となり、暖かく湿った空気が流れ込んだことで断続的に激しい雨が降り、大雨被害がもたらされた。秋田県協会は仙北市社会福祉協議会と連携し、緊急で必要な物資はないものの、桧木内川の氾濫による床上浸水の被害により暖房器具が使えなくなった世帯に対し、冬に備えて石油ファンヒーター20台を支援させていただいた。

### ◆令和7年台風15号等による災害への支援

台風15号と前線の影響により、西日本から東日本の太平洋側を中心に記録的な大雨となった。また、台風の影響で静岡県牧之原市から吉田町にかけて竜巻が発生し、多数の家屋等の屋根の飛散や電柱の折損などの物的被害等をもたらした。台風15号が激甚災害に指定されたことを受け、静岡県協会は静岡県社会福祉協議会と連携し、竜巻被害に遭った牧之原市と吉田町の屋根修繕に関する資材や高所作業車レンタル代を支援させていただいた。

### ◆令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災への支援

11月18日に発生した大規模火災について、大分県協会は大分県社会福祉協議会と連携し、避難所で必要としている物資を確認し、トイレットペーパーや箱ティッシュ、ブランケット、レトルト食品などの物資を支援させていただいた。

全国で相次ぐ大規模災害に対し、被災地の状況を迅速に把握し、速やかに支援を行える体制を強化することを目的として、全国54協会からハートフル・コーディネーターが集まり「ハートフル・コーディネーター研修会」を開催した。令和7年度は、能登半島の現状視察を兼ね、石川県において2日間の研修を実施した。1日目は研修会を行い、ハートフルファンデーションの理念や突発的災害時の支援方法を共有したほか、「ハートフルセミナー」として、能登半島地震時において支援活動を行った特定非営利活動法人日本防災士会の大月真由美氏、特定非営利活動法人ジャパンハートの高橋茉莉子氏の2名を講師に迎え、被災状況や避難所での生活について講演をいただいた。2日目は、能登半島の和倉温泉を訪問し、被災されたボランティアガイドの案内により和倉温泉街を視察した。さらに、和倉温泉お祭り会館にて、能登の方々がかけてきた「祭り」への思いや再建のエピソードを伺い、神輿等の祭礼道具の見学を通して、震災後のコミュニティ維持について考える機会となった。石川県へは今後も継続的に支援を行う方針であり、石川県協会と連携して現地からの要望に応じ、迅速に支援できるように体制を整えていく。

万一の大災害時に、「JAIFAらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられた。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていくこととしている。

## ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2026年3月31日

前年度末繰越金	96,168,281		
<b>収入</b>		<b>支出</b>	
①年会費からの収入	21,641,500	①突発的災害支援	2,805,438
令和7年度会費43,278名[@500]	21,639,000	令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害への支援	348,590
令和6年度以前の会費5名[@500]	2,500	令和7年8月20日からの大雨にかかる災害への支援	594,000
②寄付金等	1,641,292	令和7年台風15号等による災害への支援	1,761,323
一般社団法人生命保険協会[R7年度]	1,500,000	令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災への支援	101,525
一般	141,292	②香川県・高松市(未来ある子どもたちへの支援)	2,809,018
③2025JAIFA年次大会inさぬき募金 (一口1,000円以上募金LED/バッジ)	2,809,018	③未来ある子どもたちへの継続支援	7,000,000
		NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
		公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
		公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
		NPO法人 ジャパンハート	2,000,000
		④ハートフル・コーディネーター研修会	3,226,614
		ハートフル・コーディネーター研修会・旅費	2,709,460
		ハートフル・コーディネーター研修会・視察費・講演料	517,154
		⑤ハートフルファンデーション委員会費	92,840
		⑥LED/バッジ制作費	1,112,100
		⑦振込手数料・残高証明書発行代	41,790
合計	26,091,810	合計	17,087,800
		年度末残高	105,172,291

### ■公益事業としての国際協力の推進 (管理部門)

JAIFAが連携する海外協会であるNAIFA (全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会) との交流をはかり、生命保険に関する研究を重ねると共に、やがて、JAIFAが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

### ■会員増強と組織の強化 (管理部門)

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し会員増加への対応を相互連携することは、JAIFAの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和7年度は、会員数が前年度比8.5%の増加となり、令和5年度に達成した会員数4万名を大きく上回った。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.4%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%

22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.5%
28年	36,449名	1,559名	4.5%
29年	38,476名	2,027名	5.6%
30年	38,876名	400名	1.0%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
2年	38,897名	▲437名	▲1.1%
3年	39,557名	660名	1.7%
4年	38,664名	▲893名	▲2.3%
5年	40,487名	1,823名	4.7%
6年	39,906名	▲581名	▲1.4%
7年	<b>43,278名</b>	<b>3,372名</b>	<b>8.5%</b>

### ■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「Present」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。2024年2月号より特集と連載を生命保険に関する記事を掲載している。相続対策など、一般の方の知識となるような内容とする。

また、広報活動については、JAIFAの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「QRコード」などを活用していく。

#### ●2025年4月号

- ・ 特集 第13回 相続対策に強い生命保険 生前贈与を活用しよう その2
- ・ 連載 第7回 すぐに役立つ介護の知識 シングル介護を支える介護保険  
仕事と介護の両立に役立つサービスとは
- ・ 第120回 ゼロから学ぶ税金講座 「103万円の壁」2つの側面（後編）
- ・ 第268回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 保険の一手が自分を救う
- ・ 第97回 社会保険Q&A 育児休業給付が拡充
- ・ 第157回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術【自分に優しくする習慣の作り方】 新しい一歩を楽しむ心を育てよう
- ・ 第132回 心のかけはし 苦しい時期を乗り越えて、生活環境全てを営業フィールドに  
～オープンマインド。自然体な自分でお客様に寄り添う～
- ・ 第169回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ お金持ちの部屋にある5つの特徴
- ・ 第71回 想いをつなぐ 誰かの幸せのために、自分の時間を使う
- ・ 2025JAIFA年次大会 in さぬき 参加者募集のご案内

#### ●2025年5月号

- ・ 特集 第14回 相続対策に強い生命保険 生前贈与を活用しよう その3
- ・ 連載 第4回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング  
老後のために資産運用を始めたい世帯 その2
- ・ 第121回 ゼロから学ぶ税金講座 iDeCo掛金上限、さらに引上げへ（前編）
- ・ 第269回 ありがとう生命保険  
～中学生作文コンクール入賞作品より～祖母から母へつなぐガン保険
- ・ 第98回 社会保険Q&A 賃金が上がらないと年金が増えない！？
- ・ 第158回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術【自分に優しくする習慣の作り方】 自分に声をかける時間を持つ

- ・ 第133回 心のかけはし お客様が一番困っているときにこそ 手を差し伸べられる存在になりたい  
～ボランティア活動が変えた私の営業理念～
- ・ 第170回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 今年のふるさと納税はお早めに！
- ・ 第72回 想いをつなぐ 地域に根差した社会貢献活動に取り組んでいます
- ・ 第72回 JAIFA VOICE 児童養護施設への訪問は毎年の恒例行事となっています

## ●2025年6月号

- ・ 特集 第15回 相続対策に強い生命保険 過度な生前贈与には注意が必要、特別受益
- ・ 連載 第5回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング 将来の収支不安を解消したい60代世帯
- ・ 連載 第8回 すぐに役立つ介護の知識  
『ひとり暮らし』『老老介護』『看取り介護』ケース別 介護サービスの選び方
- ・ 第122回 ゼロから学ぶ税金講座 iDeCo掛金上限、さらに引上げへ（後編）
- ・ 第270回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 安心して暮らすために
- ・ 第99回 社会保険Q&A失業手当、自己都合退職の場合
- ・ 第159回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 ちょっと立ち止まる時間を持つ
- ・ 第221回 お客様からの感謝の声  
46歳で妊娠をきっかけに難病発症。お腹の赤ちゃんのおかげで命が救われました
- ・ 第171回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
通勤手当は非課税！でも社会保険料の対象にはなる
- ・ 第73回 想いをつなぐ 盛大な社会貢献イベントの開催を夢見ています！
- ・ 第73回 JAIFA VOICE 同じ志を持って相互研鑽に励んでいます

## ●2025年7月号

- ・ レポート 2025 JAIFA年次大会 in さぬき  
For your smile ～あなたの笑顔と 幸せのために～
- ・ 第55回 定時総会報告
- ・ 理事長就任にあたってのご挨拶  
公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 理事長 若山 薫
- ・ 連載 第9回 すぐに役立つ介護の知識 介護ベッドなどの福祉用具を家計に無理なく利用するには
- ・ 第271回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～  
自分の人生に責任を持って生きる
- ・ 第100回 社会保険Q&A 遺族厚生年金が有期給付に
- ・ 第160回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 『好印象』の自分を表現しよう
- ・ 第222回 お客様からの感謝の声  
28歳で腎臓がんを早期発見・早期治療できたのは恋人のおかげ。結婚して幸せな毎日です
- ・ 第123回 ゼロから学ぶ税金講座 住民税が一律10%の理由
- ・ 第172回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
再び増加の株主優待だが……。急な廃止に要注意？
- ・ JAIFA社会貢献活動報告

## ●2025年8月号

- ・ 特集 第16回 相続対策に強い生命保険 遺言を検討しよう その1
- ・ 連載 第6回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング 終活の始め方に悩む70代世帯 その1
- ・ 連載 第10回 すぐに役立つ介護の知識 末期がん患者のための介護保険と訪問医療の活用法
- ・ 第124回 ゼロから学ぶ税金講座 住民税の非課税ライン
- ・ 第272回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 命のお守り
- ・ 第101回 社会保険Q&A 遺族厚生年金の男女差解消へ

- ・ 第161回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術【自分に優しくする習慣の作り方】 自分も大切にしている関係づくりをしよう
- ・ 第134回 心のかけはし継続は力なり、最後まで営業人生を華麗に走り続ける  
～たくさんのお客様、そして仲間を支えられながら基本に忠実にそして着実に～
- ・ 第173回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
ねんきん定期便に載っていない4つの年金
- ・ 第74回 想いをつなぐ 子どもたちへの支援に力を入れています
- ・ 第74回 JAIFA VOICE 役員・幹事の絆が強く、日々楽しく活動しています

## ●2025年9月号

- ・ 特集 第17回 相続対策に強い生命保険 遺言を検討しよう その2
- ・ 連載 第7回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング 終活の始め方に悩む70代世帯 その2
- ・ 連載 第11回 すぐに役立つ介護の知識 特養に入れない。対処法を教えてください！
- ・ 第125回 ゼロから学ぶ税金講座 所得税と住民税の所得控除額の違い
- ・ 第273回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～  
保険は、夢に向かって羽ばたける翼
- ・ 第102回 社会保険Q&A 繰下げできない「特別支給の老齢厚生年金」
- ・ 第162回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術【自分に優しくする習慣の作り方】 未来につながる言葉を使おう
- ・ 第223回 お客様からの感謝の声 家族以上の絆で結ばれた  
子どものいない老夫婦の最期。養子として見送ることができました
- ・ 第174回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 証券口座の不正アクセスに要注意
- ・ 第75回 想いをつなぐ 地域に根差した社会貢献活動を実施しています！
- ・ 第75回 JAIFA VOICE 地域貢献こそ最大の社会貢献！

## ●2025年10月号

- ・ 特集 第18回 相続対策に強い生命保険 遺言を検討しよう その3
- ・ 生命保険協会会長に就任してJAIFAの皆様へ
- ・ 特別企画 今からでも遅くはない！？ 大阪・関西万博へ行こう！
- ・ 第126回 ゼロから学ぶ税金講座 限定的な生命保険料控除の引上げ
- ・ 第274回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～  
わたしたちのくらしと生命保険
- ・ 第103回 社会保険Q&A 10月から保険料が上がる理由
- ・ 第163回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術【自分に優しくする習慣の作り方】 ジャーナリングで心を整えよう
- ・ 第224回 お客様からの感謝の声  
がん治療とおでん屋の仕事を両立。常連さん達ときょうたいの存在が心の支えです
- ・ 第175回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
お金がないとやりがち？ 貧乏を招く3つの行動
- ・ 第76回 想いをつなぐ 社会貢献活動の標準化を目標に
- ・ 第76回 JAIFA VOICE 少数精鋭で社会貢献に努めています！

## ●2025年11月号

- ・ 21人の理事・監事からのメッセージ
- ・ 特集 第19回 相続対策に強い生命保険 寄与分・特別寄与料とは
- ・ 連載 第8回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング  
ふるさと納税を始めたい20代世帯 その1
- ・ 第127回 ゼロから学ぶ税金講座 確定拠出年金の受取り方(1)
- ・ 第275回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～繋ぐ

- 第104回 社会保険Q&A 年金カットなら繰り下げればいいのか
- 第164回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 伝え上手な自分になろう
- 第135回 心のかけはし ピンチを乗り越え、更に高みを目指す  
～かけがえのないJAIFAの仲間たちとの出会いで変わった営業に対する意識～
- 第176回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
ペットを飼う費用が年々増えているのは本当？
- 第77回 想いをつなぐ 地域に密着したボランティア活動を継続的に
- 第77回 JAIFA VOICE 明るく、元気に、そして楽しむ

## ●2025年12月号

- 54地方協会長からのメッセージ
- 特集 第20回 相続対策に強い生命保険 ケース別相続対策① おひとり様の相続
- 連載 第9回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング  
ふるさと納税を始めたい20代世帯 その2
- 連載 第12回 すぐに役立つ介護の知識 足腰が弱った親を支える介護保険サービスを紹介します
- 第128回 ゼロから学ぶ税金講座 確定拠出年金の受取り方(2)
- 第276回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 私達の暮らしと生命保険
- 第105回 社会保険Q&A 請求しなければ、年金繰下げへ
- 第165回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 「余白」のある時間を過ごそう
- 第177回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 来年こそはお金を貯めよう！
- 第78回 想いをつなぐ 先輩方の想いを繋いでいきたい
- 第78回 JAIFA VOICE 皆で楽しく活動をして、皆で成長して成功する

## ●2026年1月号

- 新春対談  
輝く未来のために「挑戦者」になろう  
～Let's become challengers for shining future～  
高橋 克典さん<俳優> 若山 薫<JAIFA第14代理事長>
- 連載 第13回 すぐに役立つ介護の知識  
認知症・軽度認知障害(MCI)を支える 介護保険サービス3選
- 第277回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～  
もしもの夜にともる“希望のあかり”～大切な人に「ありがとう」の気持ちを込めて～
- 第63回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式  
生命保険会社社長より 新年のご挨拶
- 第129回 ゼロから学ぶ税金講座 確定拠出年金の受取り方(3)
- 第106回 社会保険Q&A 「繰下げをやめる」という選択
- 第166回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 力を入れるより緩めるを大切にする
- 第225回 お客様からの感謝の声  
仕事に社会福祉に大活躍のシングルマザー。乳がんが人生を考えるきっかけになりました
- 第178回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ  
日本でも発行開始。ステーブルコインってなに？
- 全国会長会議報告
- 第79回 想いをつなぐ 豪雨災害の被災地へ支援物資をお届けしました
- 第79回 JAIFA VOICE 春と秋に研修会を開催しています

●2026年2月号

- ・ 特集 第21回 相続対策に強い生命保険 ケース別相続対策② 不動産オーナーの相続
- ・ 連載 第10回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング  
実家の親の老老介護が始まる50代後半世帯 その1
- ・ 第130回 ゼロから学ぶ税金講座 ふたつの雑所得
- ・ 第278回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～「思いやり」の生命保険
- ・ 第107回 社会保険Q&A 「130万円の壁」が変わる
- ・ 第167回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 人との距離感を整える時間を持つ
- ・ 第136回 心のかげはし  
身をもって保険の大切さを知る営業職として～当初は迷いもありましたが、何かに導かれて  
この世界に入ったと感じています～
- ・ 第179回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 個人向け国債は中途換金してもお得？
- ・ タオル・子ども向け絵本 収集へご協力をお願い
- ・ 2026 JAIFA 年次大会 in 大阪 参加者募集のご案内

●2026年3月号

- ・ マダム晶子の九性気学で今日から開運
- ・ 特集 第22回 相続対策に強い生命保険ケース別相続対策③ 難しいケースの相続対策  
—そして個人提案のまとめ—
- ・ 連載 第11回 10分レッスン 事例で学ぶライフプランニング  
実家の親の老老介護が始まる50代後半世帯 その2
- ・ 第131回 ゼロから学ぶ税金講座「公的年金等控除」はあるけれど……
- ・ 第279回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～母の病気と生命保険
- ・ 第108回 社会保険Q&A在職支給停止ライン、65万円に引上げ
- ・ 第168回 桐生純子の愛され力  
コミュニケーション術 【自分に優しくする習慣の作り方】 自分を応援する言葉を持つ
- ・ 第226回 お客様からの感謝の声  
36歳でくも膜下出血により急逝した夫。3人の子も達を残してくれたことに感謝しています
- ・ 第180回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ シニアがもらえる給付金・補助金5選
- ・ 第80回 JAIFA VOICE 会社の垣根を超えて、情報交換会を開催！
- ・ 2026 JAIFA 年次大会 in 大阪 参加者募集のご案内

# 1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

## セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして123回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。

開催したセミナーの一部を下記に記載する。

### 1. 健康増進や先端医療のテーマ

#### ◆開催事例

- ①豊橋 眞成（豊橋歯科医院院長）  
『歯科医が教える歯と健康』 自称・宇宙人ジョーンズの独り言～人生の楽しみ方～
- ②中川 恵一（東京大学医学部付属病院 放射線治療部門 特任教授）  
『知っておくべき、ガンのすべて』
- ③竹内 より子（エイジングケアトレーナー）  
『実年齢「マイナス10歳」を生きる方法』
- ④舩津 定見（公益社団法人 佐賀国際重粒子線ガン治療財団 専務理事）  
『心と体にやさしい重粒子線ガン治療』
- ⑤橋本 将吉（東京むさしのクリニック院長）  
『医師が教える「薬のトリセツ」』

### 2. 生きがいを考えるテーマ

#### ◆開催事例

- ①森崎 博之（俳優）  
『生きることは食べること』
- ②桂 宮治（落語家）  
『落語とコミュニケーション術～明るい所に花は咲く～』
- ③島田 秀平（手相芸人）  
『手相を使ったコミュニケーション向上講座』
- ④越塚 勇人（元中学校体育教師）  
『命の授業』

### 3. 教育・人格形成テーマ

#### ◆開催事例

- ①香取 貴信（作家、ソウルサーファー）  
『社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった』
- ②野々村 友紀子（放送作家）  
『野々村 友紀子式 ものの伝え方』
- ③笑い飯 哲夫（漫才師）  
『頑張りすぎない人生 教育・育成に繋げる力』
- ④養老 孟司（東京大学名誉教授）  
『バカの壁は誰の中にもある～思い込みから自由になる方法～』

#### 4. ライフプランの設計支援テーマ

##### ◆開催事例

- ①立川 志らく (落語家)  
『人生の選択』
- ②山中 伸枝 (一般社団法人 公的保険アドバイザー協会理事、ファイナンシャルプランナー)  
『公的保険セミナー』
- ③池江 美由紀 (競泳・池江璃花子選手のお母さま、幼児教室講師兼経営者、  
環太平洋大学 次世代教育学部 こども発達学科 客員講師)  
『もし家族が突然病気になったら、どう向き合うか』

#### 5. 経済や金融などの知識向上テーマ

##### ◆開催事例

- ①三森 智仁 (株式会社大戸屋フォールディングス 取締役非業務執行、  
全日本相続技研株式会社代表取締役)  
『「大戸屋との決別と相続事業承継」～大戸屋創業家が語る～』
- ②門倉 貴史 (エコノミスト、BRICS 経済研究所代表)  
『人生100年時代のお金のこと』
- ③玄番 芳江 (社会保険労務士)  
『社会保険労務士と学ぶ社会保障の最前線』
- ④樋口 耕太郎 (Kwahu Ocean株式会社 最高執行責任者、  
沖縄大学人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授)  
『沖縄から貧困がなくなる本当の理由』

#### ブロックセミナー

##### <北海道ブロック>

令和7年10月10日(金) ガーデンパレス札幌  
大家 綾香 『SNSが普及する時代だからこそ大事にしたい人との会話・コミュニケーション』

##### <東北ブロック>

令和7年10月 3日(金) フレアージュスウィート  
八木 真澄 『サバンナ八木さんに教わる営業の極意と資産運用』

##### <関東甲信越ブロック>

令和7年10月10日(金) ホテル国際21  
森永 康平 『日本経済の現状と展望』

##### <東海北陸ブロック>

令和7年10月 3日(金) 石川県立音楽堂  
さくらい りょうこ 『支える力は自分から～気づきと選択がつなぐ未来～』  
千原 せいじ 『コミュニケーションは取ったもん勝ち!』

##### <四国ブロック>

令和8年 2月27日(金) 愛媛県民文化会館  
三代 敏夫 『人との出会いが人生を変える ～人生最高の出会いはJAIFAだった～』  
吉岡 秀人 『困難に立ち向かい、幼き命を救い続ける男からのメッセージ』

##### <九州ブロック>

令和7年11月12日(水) 城山ホテル鹿児島  
黒川 伊保子 『対話のトリセツ「脳が創り出す男女のミゾ」解消法』

## 2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

### 社会貢献事業

#### ■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行了した活動を掲載した。令和8年3月31日現在までの総累計金額は、6億7,929万8,727円である。

#### ■ボランティア団体主催の諸行事に参加

ガンに立ち向かう人々のための公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフや、知的発達障害のある人々のための公益社団法人スペシャルオリンピックス日本などへ、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

#### ■大災害に対する緊急支援体制■

国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害にの被害に対して、今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションにて対応していく。

## 3. 調査・提言事業（その他の事業）

### 諸団体との連携・交流等事業

- ・令和7年 4月24日(木)25日(金) 第55回MDRT日本会大会に金井理事長と事務局が出席した。
- ・令和7年 6月20日(金) 第54回TLC（生命保険協会認定FP）会総会に若山理事長が出席した。
- ・令和7年 8月 8日(金) アンダーライティング学院運営委員会に日影理事が出席した。
- ・令和7年 8月25日(月) アンダーライティング学院第50期生卒業式に若山理事長が出席した。
- ・令和7年 9月 5日(金) アンダーライティング学院第51期生入学式に曾根崎理事が出席した。
- ・令和7年10月15日(水) 生命保険修士会第51回定時総会講演会に若山理事長が出席した。
- ・令和7年11月 7日(金) 一般社団法人日本損害保険代理業協会第14回日本代協コンベンション懇親会に若山理事長が出席した。
- ・令和8年 1月 5日(月) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に若山理事長と事務局が出席した。
- ・令和8年 1月26日(月) 生命保険文化センター設立50周年記念公開講演会・レセプションに若山理事長が出席した。

### 国際連携事業

#### NAIFA年次大会

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客様や一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がない。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密

接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

## 政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和8年度税制改正に関する要望項目について

令和7年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月12日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

- ◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度を拡充すること  
一子育て支援に関する政策税制として1年間の時限措置となった「子育て世帯に対する生命保険料控除の拡充」について、恒久措置とすること

《その他の要望項目》

### I. 企業年金保険関係

- 働き方に中立的な税制の構築に向けた税制改正の議論、とりわけ拠出時・運用時・給付時の課税の在り方については、私的年金全体の拠出限度額の見直し等の議論が進んだ場合であっても、年金制度のカバレッジの縮小が起きないように、一体的・慎重に議論を行うこと
- 確定給付企業年金制度について、企業の年金支給義務等を移転させる仕組みを導入するための措置を講ずること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の中途引出し（脱退一時金）について支給要件を緩和すること

### II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円+未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

## ○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和8年1月19日（月）如水会館において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催された。

## 4. 管理部門

### 組織の現状

令和7年度末の会員数は43,278名となった。前年令和6年度末会員数39,906名と比較すると3,372名の増員となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は48協会であった。地方協会別会員数は、別表（44～46ページ添付）資料の通りである。

### 会員増加48協会

札幌・函館・旭川・釧路・帯広・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・富山県・岐阜県・静

岡山県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・福山県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・沖縄県

## 諸会議の開催

### ① 理事会

- 第1回 令和7年 4月18日(金) 午後2時～午後4時半 ソニー生命 31階 会議室  
議 題 I. 決議事項 第1号議案 令和6年度事業報告承認の件 第2号議案 令和6年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 令和6年度決算承認の件 第2号議案 理事選任の件 第2号議案 監事選任の件 報告事項: 1. 令和6年度事業報告の件 2. 令和7年度事業計画報告の件 3. 令和7年度予算報告の件 第5号議案 地方協会長承認の件(秋田県協会・香川県協会) 第6号議案 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長 2. 内部監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. 年次大会の開催について 5. その他
- 第2回 令和7年 7月 4日(金) 午後1時～午後4時半 メットライフ生命 7階 会議室  
議 題 I. 決議事項 1. 令和7年度事業推進について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 3. 理事会の開催予定について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次大会報告 4. その他
- 第3回 令和7年 9月11日(木) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 6階 会議室  
議 題 I. 決議事項 1. 令和7年度事業推進について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 3. 全国会長会議の開催予定について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他
- 第4回 令和7年10月30日(木) 午後1時～午後2時半 メットライフ生命 6階 会議室  
議 題 I. 決議事項 1. 令和7年度事業推進について 2. 令和8年度事業計画骨子について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 会社代表委員承認の件 4. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 1. 職務執行状況の報告について(理事長・副理事長) 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他
- 第5回 令和8年 1月19日(月) 午後1時～午後4時半 如水会館 2階『オリオン』  
議 題 I. 決議事項 1. 令和7年度事業推進について 2. 令和8年度事業計画案について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和8年度予算原案について 4. 会社代表委員承認の件 5. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 6. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

### ② 委員会

#### IT公益推進委員会 教育部会

- 第1回【教育部会・編集会議】令和7年 8月21日(木) 午後2時～午後3時40分 JAIFA 本部会議室(Web会議併用)  
議 事 1. 令和7年度事業進捗について 2. 令和7年度広報誌「Present」の制作について 3. 令和8年度事業計画案(骨子)について 4. その他  
編集会議 午後3時45分～午後4時50分

議 事 1. 令和7年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. 令和8年度広報誌「Present」年間編集方針について 3. その他  
第2回【教育部会・編集会議】令和7年11月20日(木)午後2時～午後3時20分 JAIF A本部会議室(We b会議併用)

議 事 1. 令和7年度事業進捗について 2. 令和8年度事業計画案について 3. 令和8年度広報誌「Present」の制作について 4. その他  
編集会議 午後3時半～午後4時40分

議 題 1. 令和8年度広報誌「Present」年間編集方針について 2. その他

#### IT公益推進委員会 広報部会

第1回 令和7年8月4日(月)午後1時～午後3時45分 JAIF A本部会議室【We b会議】

議 事 1. JAIF Aの公益広報活動 2. JAIF A紹介パンフレット「Make a future」の活用 3. JAIF Aロゴマーク・キャラクター 4. JAIF Aバッチ

#### IT公益推進委員会 推進部会

第1回 令和7年 8月 4日(月)午後1時～午後3時45分 JAIF A本部会議室【We b会議】

議 事 1. LINE公式アカウント登録の推進 2. ホームページアクセス数向上へ向けた取り組みの継続 3. 「JAIF A学習帖」の内容リニューアルと定期配信を通じたアクセス増への取り組み 4. 議案書・委任状発送業務の電子化検討

#### 企画運営委員会

第1回 令和7年 7月16日(水)午後1時半～午後2時半 JAIF A本部会議室【We b会議】

議 事 1. 2026 JAIF A年次大会in大阪について 2. その他

第2回 令和7年10月31日(金)午後2時～午後5時 JAIF A本部事務会議室

議 事 1. 2026 JAIF A年次大会in大阪について 2. その他

第3回 令和8年 1月20日(火)午前10時半～午後12時半 JAIF A本部会議室【We b会議】

議 事 1. 2026 JAIF A年次大会in大阪について 2. その他

#### **【2025 JAIF A年次大会inさぬき実行委員会】**

第4回 令和7年 4月 4日(金)午後1時半～午後5時半 高松市生涯学習センター 2階 大研修室

議 事 1. 2025 JAIF A年次大会inさぬきについて 2. その他

第5回 令和7年 8月 1日(金)午後1時～午後4時半 レグザムホール

議 事 1. 2025 JAIF A年次大会inさぬき 開催を受けて 2. その他

#### **【2026 JAIF A年次大会in大阪実行委員会】**

第1回 令和7年 7月 8日(火)午後3時～午後6時 明治安田生命 大阪南支社 会議室

議 事 1. 2025 JAIF A年次大会報告(ダイジェストDVD視聴)  
2. 2026 JAIF A年次大会について 3. その他

第2回 令和7年10月 3日(金)午後2時～午後5時半 明治安田生命 大阪南支社 会議室

議 事 1. 2026 JAIF A年次大会について 2. その他

第3回 令和8年 1月30日(金)午後2時～午後8時 明治安田生命 大阪南支社 会議室

議 事 1. 2026 JAIF A年次大会について 2. その他

#### 社会貢献委員会

第1回 令和7年 8月29日(金)午後3時～午後5時 JAIF A本部会議室

議 事 1. 令和7年度事業進捗と今期方針の検討について 2. 令和8年度事業計画案(骨子)について 3. その他

#### 会員増強委員会

第1回 令和7年12月 8日(月)午後3時～午後5時 JAIF A本部会議室

- 議 事 1. 令和7年度事業推進と会員増強について ・会費納入状況について ・会員増強について 2. 令和8年度事業計画(案)について 3. その他

#### 公益総務委員会

- 第1回 令和7年10月 7日(火) 午後2時~午後3時半 JAIFA本部会議室【Web併用】  
議 事 1. 令和7年度事業進捗について ・公益総務委員会とは ・前期活動についての共有 2. ブロック活動補助金について 3. 令和8年度事業計画案骨子について 4. その他
- 第2回 令和8年 3月17日(火) 午後2時~午後4時 JAIFA本部会議室【Web併用】  
議 事 1. 令和7年度事業進捗について 2. 令和9年度からの「ブロック活動補助金」について 3. 令和8年度事業計画案について 4. その他

#### ③ 全国会長会議

- 第1回 令和7年10月30日(木) 午後3時~午後6時 メットライフ生命 6階大会議室 全国会長会議、JAIFAフォーラム 午後6時半~午後8時半 ナイトミーティング  
議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と令和8年度事業計画骨子 IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 ②内部監査報告 2. 若山理事長からのオリエンテーション 3. JAIFAフォーラム 4. その他
- 令和7年10月31日(金) 午前9時~午後1時 メットライフ生命 6階大会議室 全国会長会議、ブロック会議  
議 事 1. ブロックからの報告 東海北陸ブロック 能登半島地震の復興について現状報告 2. JAIFAフォーラム報告(8グループからの代表) 3. ブロック会議 北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 4. ブロック会議報告とブロック長会議報告 5. 2027・2028年次大会について 6. 年次大会誘致のPR 7. その他

#### ④ ブロック長会議

- 第1回 令和7年10月30日(木) 午後1時~午後2時半 メットライフ生命 6階大会議室  
議 事 1. 会員増強「令和7年度末時点 会員増員目標数」について 2. 「2026 JAIFA年次大会 in大阪」の参加動員数について 3. 2028年の年次大会開催地について 4. ブロック活動補助金について 5. その他

#### ⑤ ブロック会議

##### <北海道ブロック>

- 令和7年10月10日(金) ガーデンパレス札幌  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

##### <東北ブロック>

- 令和7年 4月 2日(水) 朝日生命保険相互会社 山形支社  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

##### <関東甲信越ブロック>

- 令和7年 7月18日(金) 第一生命保険株式会社 長野支社  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

##### <首都圏ブロック>

- 令和7年 7月17日(木) ソニー生命東京サンケイビル会議室  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命7階会議室  
令和8年 2月16日(月) ソニー生命東京サンケイビル会議室  
令和8年 3月18日(水) ソニー生命東京サンケイビル会議室

##### <東海北陸ブロック>

令和7年 10月4日(土) ホテル金沢4階藤の間  
令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

<中国ブロック>

令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

<四国ブロック>

令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

令和8年 3月13日(金) しこちゅーホール

<九州ブロック>

令和7年10月31日(金) メットライフ生命6階会議室

令和7年11月13日(木) TKPガーデンシティ鹿児島中央

## ■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和7年度は、「本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動」「従来からの内部監査の延長活動」の各項目での内部監査を実施した。

内部監査 【本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動】

- 1 令和6年度に引き続き各種規程類の見直し
- 2 本部事務局の管理体制、事務についての見直し

【従来からの内部監査の延長活動】

- 1 各ブロック活動・地方協会の活動の確認

## ■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和7年度末の専従職員数は**6名**である。

## ■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

## ■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟(いずれも社団法人のみ)、第三者訴訟(社団法人、財団法人共通)により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。